

8月16日

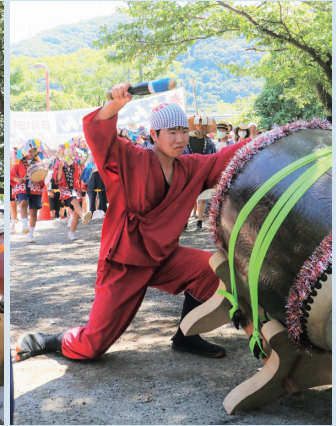
文化課
(TEL) 0848-64-9234

ちんこんかん合同奉納が復活

恵みの雨を願うちんこんかん合同奉納が、大須賀神社(新倉)で行われました。今年は「小坂チンコンカン踊り」、「宗郷町太鼓踊り」、「八ツ頭チコカン踊り」の3団体が参加。各チームの子どもたちは大太鼓や小太鼓、鉦の音に合わせ、力強い太鼓踊りを披露しました。



▲迫力ある太鼓踊りを披露



▲左上/八ツ頭チコカン踊り
右上/小坂チンコンカン踊り

◀宗郷町太鼓踊り

7月25日~27日

文化課
(TEL) 0848-64-9234

マスキングテープでやさ祭りを盛り上げる

マスキングテープを使った市民参加型イベント「みはらはら」が、市民ギャラリーで行われました。今回のテーマは「やさ祭り」で、小学生~高校生とその保護者、延べ35人が参加。子どもたちはさまざまな色や柄のマスキングテープをちぎって、貼って、思い思いに祭りに関連した作品を作りました。

▶左/作品は市民ギャラリー多目的ホールに設置
右/楽しみながら、集中して制作に取り組む子どもたち



8月13日

宇根山活性化グループ
(TEL) 080-8230-8701

満天の星を楽しむ!ペルセウス座流星群観望会



▲大型反射望遠鏡で星を観察

三大流星群の一つに数えられる「ペルセウス座流星群」の観測と、プラネタリウムでの流星や彗星の動きを学ぶ「ペルセウス座流星群観望会」が宇根山天文台で開催されました。当日は、123人が参加。子どもたちは、食い入るように夜空を眺め、流星群を間近に体験しました。

8月11日~13日

観光課
(TEL) 0848-67-6014

やさ祭りが完全復活



▲子どもやさ大賞に選ばれた「たのうらキッズ」の子どもたち

三原の夏の風物詩・やさ祭りが4年ぶりに通常開催され、3日間で約5万人が訪れました。11日・12日のやさ踊りには60チームが参加し、日頃の練習の成果を披露したほか、屋台なども復活。最終日には7,300発の花火が夜空に乱れ咲くなど、三原らしい夏のにぎわいが戻ってきました。

8月8日

豊漁を願いタコ供養を開催



タコとその餌の壺を慰め、瀬戸内海に感謝する「第28回タコ供養」が松寿寺(東町)で開かれました。当日は三原観光協会や漁業関係者に加え、地元小学生も参列。参列者らは「蛸之壺」と書かれた位牌に向かい、不漁が続くタコの豊漁と消費需要の拡大を祈願しました。

7月22日

4年ぶりの開催!沼田本郷夏まつり



沼田本郷夏まつりが4年ぶりに開かれました。当日は本郷小学校6年生による自作の段ボール甲冑(かこう)を着た「甲冑行列」や、本郷西小学校児童による「子どもみこし」などが行われたほか、メイン会場ではダンスやバンド演奏なども披露され、フィナーレには2,023発の花火が夜空を彩りました。